

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月7日

上場取引所 大

上場会社名 ワイエスフード株式会社

コード番号 3358 URL <http://www.vs-food.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 緒方 正憲

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長

(氏名) 筒井 和久

TEL 0947-32-7382

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	1,491	△7.5	7	△90.8	1	△97.4	△55	—
23年3月期第2四半期	1,612	△15.6	83	117.8	76	104.7	1	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △54百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 0百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△1,475.38	—
23年3月期第2四半期	50.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	4,360	2,183	50.1	58,499.85
23年3月期	4,255	2,238	52.6	59,967.14

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 2,183百万円 23年3月期 2,238百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成24年3月期末につきましては、今後の経営環境が不透明であることから、現時点では未定としております。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,200	0.9	150	1.6	135	3.0	60	277.1	1,607.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	38,730 株	23年3月期	38,730 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	1,400 株	23年3月期	1,400 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	37,330 株	23年3月期2Q	38,730 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項等については、【添付資料】P. 3「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成23年3月11日の東日本大震災以降停滞していた企業の生産活動等は回復傾向が見られるものの、米国経済の回復の遅れや欧州における金融不安等による円高の進行もあり、雇用、所得環境が依然好転せず、景気の先行きは引き続き不透明な状況となっております。

外食産業におきましても、震災に起因する原発事故の放射能汚染による影響や、焼き肉チェーン店等において発生した食中毒問題により、消費者の食の安全に対する関心はより一層強まり、企業経営環境は厳しい状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは「お客さま満足度101%以上の実現」を目指し、引続き店舗モニタリングを行い、接客マナー、店舗クリーンネスの向上、改善に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては売上高1,491百万円（前年同四半期比7.5%減）の減収となり、利益面では、営業利益7百万円（同90.8%減）、経常利益1百万円（同97.4%減）の減益となりました。

当四半期純損益は、減損損失等の特別損失の発生もあり、四半期純損失55百万円（前年同四半期は四半期純利益1百万円）となりました。

報告セグメントの業績は、次のとおりであります。

(外食事業)

当第2四半期連結累計期間の外食事業は、新メニュー及びセットメニューの導入また、期間を限定して夕刻から閉店までの集客を図るべくビールの280円セールなどの販売促進を実施してまいりました。また、当第2四半期連結累計期間の店舗の状況は、新規出店が6店舗（直営店1店舗、FC店2店舗、海外3店舗）、店舗閉鎖が11店舗（直営店3店舗、FC店8店舗）、直営店からFC店へ変更した店舗が1店舗あり、当第2四半期連結累計期間末の店舗数は、前連結会計年度末に比べ5店舗減少し148店舗（直営47店舗、FC店89店舗、海外12店舗）となりました。この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,410百万円（前年同四半期比7.7%減）、営業利益40百万円（同64.8%減）となりました。

(不動産賃貸事業)

当社が所有する店舗用地等の有効活用を目的とした賃貸事業を行っております。

当第2四半期連結累計期間の売上高は29百万円（同0.4%減）、営業利益10百万円（同10.8%増）となりました。

(外販事業)

連結子会社大幸食品(株)が、お客様及び当社にすりごまの製造販売を行っております。

連結子会社ふくおか製麺(株)が、当社の生産する製品を主要販売品目とし、外販を行っております。

当第2四半期連結累計期間における外販事業の売上高は51百万円（同9.4%減）、営業損失16百万円（前年同四半期は営業損失13百万円）となりました。

なお、従来「その他」に含まれていた「外販事業」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は1,099百万円となり、前連結会計年度末に比べ211百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が194百万円増加したこと等によるものであります。また、固定資産は3,260百万円となり、前連結会計年度末に比べ106百万円減少いたしました。これは主に、有形固定資産が104百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は4,360百万円となり、前連結会計年度末に比べ105百万円の増加となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は986百万円となり、前連結会計年度末に比べ12百万円減少いたしました。これは主に、買掛金が20百万円減少したこと等によるものであります。また、固定負債は1,190百万円となり、前連結会計年度末に比べ172百万円増加いたしました。これは主に、長期借入金が増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は2,176百万円となり、前連結会計年度末に比べ159百万円の増加となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は2,183百万円となり、前連結会計年度末に比べ54百万円減少いたしました。これは主に、利益剰余金が55百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は50.1%（前連結会計年度末は52.6%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ176百万円増加して630百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。
（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、獲得した資金は30百万円（前年同四半期連結累計期間は28百万円の使用）となりました。

これは主に、減価償却費が71百万円、減損損失が62百万円あったものの、税金等調整前四半期純損失が69百万円、法人税等の支払額が27百万円あったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は55百万円（前年同四半期連結累計期間は21百万円の獲得）となりました。

これは主に、定期預金の増減額が18百万円、有形固定資産の取得による支出が36百万円あったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、獲得した資金は200百万円（前年同四半期連結累計期間は152百万円の獲得）となりました。

これは主に、長期借入れによる収入の純増額によるものであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の業績予想（連結・個別）につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、通期の業績予想（連結・個別）につきましては、市場環境の先行き不透明感が残ることから、現時点では前回発表の予想数値に変更はございません。今後の業績の動向により、通期業績予想の修正が必要となった場合には、すみやかに開示いたします。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	527,875	721,966
売掛金	82,242	73,397
有価証券	10	10
商品及び製品	140,203	136,040
仕掛品	4,814	3,964
原材料及び貯蔵品	22,924	27,041
その他	112,071	138,607
貸倒引当金	△2,681	△1,815
流動資産合計	887,460	1,099,212
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,259,994	1,196,852
機械装置及び運搬具(純額)	125,488	107,044
土地	1,634,468	1,634,468
その他(純額)	47,175	24,482
有形固定資産合計	3,067,126	2,962,847
無形固定資産		
のれん	59,776	49,814
その他	11,158	14,395
無形固定資産合計	70,935	64,209
投資その他の資産		
投資有価証券	22,287	22,803
繰延税金資産	46,936	61,242
敷金及び保証金	161,103	155,876
その他	13,971	8,731
貸倒引当金	△14,806	△14,743
投資その他の資産合計	229,492	233,910
固定資産合計	3,367,555	3,260,967
資産合計	4,255,015	4,360,179

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	149,153	128,340
短期借入金	200,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	383,688	408,311
未払法人税等	31,687	20,732
賞与引当金	23,196	15,459
ポイント引当金	7,668	6,396
資産除去債務	—	7,537
その他	203,580	199,344
流動負債合計	998,975	986,121
固定負債		
長期借入金	739,022	915,076
退職給付引当金	77,802	81,304
役員退職慰労引当金	43,952	41,946
資産除去債務	42,434	40,241
その他	114,254	111,690
固定負債合計	1,017,467	1,190,259
負債合計	2,016,442	2,176,380
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,002,050	1,002,050
資本剰余金	799,750	799,750
利益剰余金	467,249	412,173
自己株式	△29,400	△29,400
株主資本合計	2,239,649	2,184,573
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,075	△773
その他の包括利益累計額合計	△1,075	△773
純資産合計	2,238,573	2,183,799
負債純資産合計	4,255,015	4,360,179

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	1,612,686	1,491,220
売上原価	518,514	477,758
売上総利益	1,094,171	1,013,461
販売費及び一般管理費	1,010,304	1,005,708
営業利益	83,866	7,753
営業外収益		
受取利息	773	447
受取配当金	45	45
受取保険金	—	663
協賛金収入	1,763	496
その他	2,239	2,905
営業外収益合計	4,822	4,558
営業外費用		
支払利息	10,895	9,546
持分法による投資損失	1,351	—
その他	228	768
営業外費用合計	12,475	10,314
経常利益	76,213	1,997
特別利益		
固定資産売却益	2,142	—
貸倒引当金戻入額	4,017	—
特別利益合計	6,159	—
特別損失		
固定資産除却損	712	6,499
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	13,980	—
減損損失	12,853	62,734
敷金及び保証金解約損	850	2,744
特別損失合計	28,395	71,977
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	53,977	△69,980
法人税、住民税及び事業税	16,600	17,059
法人税等調整額	35,424	△31,964
法人税等合計	52,025	△14,904
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	1,952	△55,075
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,952	△55,075

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	1,952	△55,075
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△711	301
持分法適用会社に対する持分相当額	△304	—
その他の包括利益合計	△1,016	301
四半期包括利益	935	△54,774
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	935	△54,774
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	53,977	△69,980
減価償却費	73,902	71,180
減損損失	12,853	62,734
のれん償却額	9,962	9,962
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△4,017	△929
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△4,008	△7,736
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	3,750	3,501
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△164,344	△2,006
受取利息及び受取配当金	△818	△492
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	13,980	—
持分法による投資損益 (△は益)	1,351	—
支払利息	10,895	9,546
有形固定資産除売却損益 (△は益)	△1,430	6,499
売上債権の増減額 (△は増加)	21,739	8,845
たな卸資産の増減額 (△は増加)	3,002	895
仕入債務の増減額 (△は減少)	△9,044	△20,813
その他	△37,909	△3,265
小計	△16,156	67,942
利息及び配当金の受取額	523	181
利息の支払額	△10,758	△10,009
法人税等の還付額	15,740	304
法人税等の支払額	△18,155	△27,800
営業活動によるキャッシュ・フロー	△28,806	30,619
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	31,952	△18,020
有形固定資産の取得による支出	△16,281	△36,631
有形固定資産の売却による収入	2,428	2,181
貸付けによる支出	—	△1,000
貸付金の回収による収入	520	96
敷金及び保証金の差入による支出	△116	△25
敷金及び保証金の回収による収入	4,493	3,126
その他	△1,523	△4,924
投資活動によるキャッシュ・フロー	21,473	△55,197
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	400,000	450,000
長期借入金の返済による支出	△247,542	△249,323
配当金の支払額	△79	△27
財務活動によるキャッシュ・フロー	152,378	200,649
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	145,045	176,070
現金及び現金同等物の期首残高	468,329	454,211
現金及び現金同等物の四半期末残高	613,374	630,282

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	外食事業	不動産 賃貸事業	外販事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に対する 売上高	1,527,118	29,174	56,393	1,612,686	—	1,612,686	—	1,612,686
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,253	78	2,577	8,909	—	8,909	△8,909	—
計	1,533,372	29,252	58,970	1,621,595	—	1,621,595	△8,909	1,612,686
セグメント利益 又は損失(△)	113,851	9,808	△13,576	110,083	—	110,083	△26,216	83,866

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△26,216千円には、セグメント間取引消去2,948千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△29,165千円等が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「外食事業」において、継続的に営業損失を計上している店舗資産につきまして、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、12,853千円を減損損失として特別損失に計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	外食事業	不動産 賃貸事業	外販事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に対する 売上高	1,410,229	29,071	51,098	1,490,399	821	1,491,220	—	1,491,220
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,669	78	1,939	7,687	—	7,687	△7,687	—
計	1,415,898	29,149	53,038	1,498,086	821	1,498,907	△7,687	1,491,220
セグメント利益 又は損失(△)	40,061	10,866	△16,247	34,680	73	34,754	△27,000	7,753

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食店用の厨房設備の販売等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△27,000千円には、セグメント間取引消去2,946千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△29,946千円等が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第2四半期連結累計期間より、「その他」に含まれていた「外販事業」について、量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「外食事業」において、継続的に営業損失を計上している店舗資産につきまして、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、62,734千円を減損損失として特別損失に計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。